

保護者等からの事業所評価の集計結果

| | |
|-------|----------------|
| 公表 | |
| 事業所名 | てらびあぼけっと高松香西教室 |
| 公表日 | 2025年 12月 20日 |
| 利用児童数 | 31 |
| 回収数 | 20 (回収率65%) |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
|------------------|---------------------------------|---|---------------|-----|-------|---------------------------------|---|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 19 | 1 | 0 | 0 | | お子様の年齢や動きに合わせて活動内容を工夫しています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 17 | 2 | 0 | 1 | マンツーマンでしっかり見てもらえていると感じる。ソーシャルセラピーも今の息子に必要なレッスンだと感じている。 | 引き続き一人一人に寄り添った手厚い支援ができるよう配置基準を意識して努めます。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 19 | 1 | 0 | 0 | ・個室ではウサギさんの部屋、パンダさんの部屋 など子どもに分かりやすくとも良い。・天井がむき出しになっている理由を知りたい。・大部屋はみんな遊ぶ場所、個室は集中して課題に取り組む場所と認識できており気持ちを切り替えられる様子。 | 天井が空いているのは密室にしないこととお子さんの療育の様子やお子様の様子を外からでもわかるようにするためです。視覚支援をすることでお子様が行動しやすい様子です。個室も大部屋もどちらも楽しめるよう今後とも努めてまいります。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | 18 | 1 | 0 | 1 | | 職員全員で毎日清掃を行っています。また定期的に終礼でも改善点を話し合っています。今後とも安全快適な空間でお過ごしいただけるよう点検・改善してまいります。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | とてもよく理解してくれている | 今後とも定期的にケース会議を行いフィードバック内容を統一できるように努めてまいります。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | 思っていた以上に数多くのプログラムをしていただけて助かる。 | 今後も発達段階や興味関心に応じたプログラムをさらに充実させていきます。 |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | ・子どもの得意苦手を十分に理解してくれていると感じる。・安岐先生の話がとても分かりやすい。・子どもがやりたいこと、好きなこと、保護者が気になること、できるようになってほしいことを柔軟に取り入れてくれている。 | フィードバックだけでなく家族支援のお時間でも保護者の皆様お気軽に相談できる環境づくりを大切に、セラピーに反映させていこうと思います。 |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | | 保護者の皆様のご意見を大切に具体的な支援内容を設定することで分かりやすい支援計画の作成に努めてまいります。 |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | | 引き続き計画に基づきながらお子様一人一人の成長に寄り添った支援を行い保護者の皆様と連携を取ってまいります。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 19 | 0 | 0 | 1 | | プログラムについての説明を保護者の皆様にもわかりやすくお伝えできるよう活動ない湯の狙いや成長につながるポイントをフィードバックで説明できるよう取り組んでまいります。 |
| | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 11 | 2 | 3 | 4 | 先生方の負担になるので不要。 | 教室の特性上、他の施設のお子様との交流は難しいため対象外の質問項目となります。 |
| 保護者 への 説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | 月に一度で十分。・毎月じっくりお話しできる機会があるので困りごとがあっても相談しやすく助かっている。 | 保護者の皆様には毎月家族支援のお時間を取らせていただいております。保護者の皆様にABAを学んでいただき教室とお家で同じ対応をしていくことでお子さまの成長は加速していくと思います。お忙しい中お手数と存じますが今後ともご協力のほどお |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | とても子供を理解してくれており感謝している。 | 毎日終礼でお子様の様子やフィードバック家族支援で保護者の皆様から頂いたお言葉を共有し全職員で対応を協議しています。 |
| 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | ・相談すると丁寧にアドバイスをくれたり共感してくださる嬉しい。 | 引き続きお気軽にご相談いただけるよう努めてまいります。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|----|--|--|
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 19 | 0 | 0 | 1 | ・日々子育てをしていると自信を持って不安になることが多い。いつも寄り添った言葉がけを頂き励みになる。 | 保護者の皆様から些細なことでもご相談いただくことでお子様の理解の解像度が上がることがよくあります。今後ともお家でのお困りごとや出来るようになったこと、お知らせいただけたら大変 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 5 | 4 | 7 | 4 | ・先生方の負担になるので不要。・30分程度の参観があるといいと思う。・他の保護者の方と交流の機会があれば参加してみたい。 | 参観をする子供たちが落ち着いて療育に集中できなくなるという理由でより良い療育のためにご遠慮していただいています。別室でモニターからご覧いただけますのでご希望の方はお声かけください。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 18 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 19 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 15 | 1 | 2 | 2 | ・教室の空き状況が上がっているだけのことが多い。 | 週に一度 発信の時間を設け、週に2回発信できるだけの準備を行うことにいたします。また、お子様の様子だけでなく職員の研修などもSNSを通じ報告してまいります。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 19 | 0 | 0 | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 12 | 2 | 0 | 6 | ・入所時に説明を受けた。・説明は受けたが訓練されているかどうかはわからない。 | SNSでの発信が足りないと感じました。お子様の様子や空き状況だけでなく、職員の研修なども今後発信していくことが保護者の皆様への安心につながるのだとわかりましたので今後は研修の様子などもアップしてまいります。研修は年間計画に沿って朝礼の流れでサービス提供以外の時間を月に二回、2月と8月、朝礼の流れのサービス提供以外の時間を実施しております。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 3 | 4 | 0 | 13 | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 15 | 1 | 0 | 4 | | 避難経路などより分かりやすく視覚支援を準備いたします。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 18 | 1 | 0 | 1 | ・事故が起こったことがないからわからない。・体調不良の時はすぐご連絡をいただき助かりました。 | 状況に応じて医療機関、保護者の皆様に速やかに連絡を取るようしております。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | ・教室にも、どの先生にも慣れて地を出せていると思う。 | ありがとうございます。今後ともリラックスしてセラピーが受けられるよう職員全体で努力いたします。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | ・行き渋ることがほとんどなく楽しく通えている。どの先生であっても安心して過ごせている。・毎回すぐ楽しみにしている。 | 引き続きお子様にとって楽しく学べる大切な場所でありたいよう鋭意努力してまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 20 | 0 | 0 | 0 | | |

事業所における自己評価結果

| 公表 | | 事業所における自己評価結果 | | | | |
|----------|--|--|-----|--|--|---|
| 事業所名 | | てらびあぼけっと高松香西教室 | | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 1 | 利用人数に合った規模の部屋を利用している。 | もう少し教室スペースを作る必要がある。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | | 児童発達支援管理責任者、保育士の配置に加え、人員配置基準を上回る人員を配置している | 日々の配置は充足しているが、保護者対応をしている間など目が行き届かなくなる時間帯ができることも時にあり、あと一人いればより一層安心できる場になると思う。(法的な人員配置はきっちり満たしている。) |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | | 人数が増えると同じ部屋を多数の児童が入れ替わりながら使用していきます。発達段階や特性に応じてできる範囲の工夫を行っている。 | ・視覚支援や環境整備が少しずつ使いやすいいものになっていると感じる。・他の施設がどうなっているか比較対象がないので一度見てみたい。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | こまめに消毒・清掃をしている。季節に合わせた装飾をしている。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | 1 | いつでも使用できる状態になっている。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 0 | 終礼で議題をあげ、しっかり討議で来ている。 | ・終礼で行っている。問題が起こったときに次に起こらない仕組みづくりを行っている。・振り返りはしているが、目標設定が不十分な時があると感じる。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 1 | アンケート結果は全員で見ても 早速改善に向けて動いている。 | 今回もたくさんのご意向を頂けたので職員で共有し、改善させてまいります。それ以外にもセラピーノートや家族支援の中でもご家族からご意見を頂けることもあるので今度で以上に時間を取ってまいります。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | 朝礼、終礼を通して 必ずどの職員も発言のタイミングがあり業務改善につなげている。 | 終礼の時間がもう少し取れるとありがたいと感じる。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | | SVによる訪問のときに受けるフィードバックを全職員で共有し業務改善につなげている。 | 本部SVによる訪問の頻度がもう少し上がれば、ありがたい、と感じる。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 3 | 3 | 限られた時間の中ではあるが、時間を確保しようとしている。 | ・中々時間を確保することに苦慮している。最低限のことはできているが スキルアップのためにもう少し受けられる余裕が欲しい。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 5 | 1 | 職員全体で手分けをしてアセスメントを行って それを基に計画を作成している。 | より一層努力してまいります。 |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | 0 | 限られた時間の中で付箋カンファを行ったり、療育担当スケジュールを立てる時に偏らないように計画を立てるなどすべての職員が満遍なく療育にかかわるようにしている。 | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | 1 | 本部が提示する825の切り口に加えて、職員が療育しながら感じたことも大切にしながらその日の療育の振り返りを行っている。 | そもそもフォーマルなアセスメントはあるが、インフォーマルな部分はどこを見た方がいいのか分からない。 |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | 0 | 行っている。 | アセスメントを取り、カンファレンスを行い、みんなで話し合っってプログラムを立てている。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | 0 | 必ず行うプログラム以外にもその時のお子さんの様子に合わせて 各担当の裁量で各種プログラムを取り入れる自由度はある。そんななか 反応が非常に良かったプログラムは 全体プログラムに取り入れられる。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 0 | 出来ている。職員のための視覚支援も行うようになり、そのおかげで 連携しやすくなっている。 | 流れを視覚化するなど分かりやすくなるよう日々改善しつつ共有している。 |
| 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | 終礼などで日々振り返り共有している。・休みを挟むと共有できていないことがあるので記録を読んで振り返りができると良いと思う。 | |
| 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | 0 | 絶対書かなければならないディスクリートシートを 一目でわかるようにファイルするなど 各流れが作れるように仕組み化できている。 | ディスクリートシートの記入漏れが見られることがある。 | |
| 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|----------|------------------------------|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | 1 | 出来ている。 | 園の先生、進学先になるであろう小学校の先生とより信頼関係築いていきたい。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | 。まだ全体できていないので、一つ一つ増やしていきたい。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 3 | 3 | 園の先生方が積極的に見に来てくださり、その時に意見交換ができるのが大変有難い直接的ではないが保護者を通して行っている。 | 今後小学校と連携できるように関係性を構築していきたい。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) | | | | |
| | 29 | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 30 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | 本部SVにアドバイスを求めたり 専門家に質問できる状況にある。 | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | | | | |
| | 32 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | | 地域でなく、本部にスーパーバイズをお願いしている。が、頻度はもっと増やせたいと感じる。 | |
| | 33 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 3 | 3 | | 行っていない。個別療育が本事業所の目的なので今後もその予定はない。 |
| 保護者への説明等 | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | 0 | FBの際に今日の療育内容だけでなく、日々の様子をうかがう時間を持つこともあるので出来ていると思う。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | 0 | ご家族のお話を終礼で共有し、職員全体で話し合い、必要なことをお伝えできていると思う。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | |
| | 37 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | |
| | 38 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | |
| | 39 | 定期的な、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている | 1 | 5 | | 保護者会は希望者が少ない。(ほほいない) |
| | 41 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | 1 | | SNS、HP があるが 更新頻度が少ない。時間的な余裕がない部分があるが、防災訓練など 普段見えていない部分の職員の活動も報告していくことでご利用者様ご家族の安心につながるので今後もっと更新していきたい。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | 1 | シュレッダーを導入し ごみを捨てる時の配慮もが欠かさない。 | 改善されたと思うが、さらに徹底していきたい。 |
| 非常時等の対応 | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | 0 | お便りの発行や希望により視覚支援カードを提供するなど丁寧に対応できていると思う。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 5 | | 特別に行っている行事がない。 |
| | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | 2 | | 消毒マニュアル は共有できている。まだまだ不十分なところがある。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | 全体にもっと周知した方がいい |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | 未記入 1 | | 食事を提供していない。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | 未記入 1 | 出来ている。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | 未記入 1 | 出来ている。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。 | 5 | 1 | 出来ている。 | |
| 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | 0 | 出来ている。 | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 4 | 1 未記入 | 契約の際に動画資料をご覧いただき、ご納得いただいている。 | | |

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------|----|-------------|
| 公表 | 令和7年12月20日 | | |
| ○事業所名 | てらびあぼけつと高松香西教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年9月1日 | | ～ 令和7年9月20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 31 | (回答者数) 20 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年9月1日 | | ～ 令和7年9月20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 10月 30日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 個別支援・小集団活動のバランスが取れた支援が提議できること | お子様の状態や段階に応じて、個別と小集団の時間配分をしている。また、複数人でのソーシャルセラピーの実施を行っている。 | ソーシャルセラピーをさらに充実させ、集団の中で社会的スキルやコミュニケーションスキルを高める取り組みをしていく。 |
| 2 | 家族支援、子育てサポートを積極的に行っている。 | ご家庭や園での様子をお聴き取りし、全職員に共有している。プログラム作成にも落とし込んでおりPDCAサイクルを回している。 | HPやSNSにて その様子をプライバシーに配慮しつつ発信していく。 |
| 3 | チームで連携し、個別療育だけでなく小集団(ソーシャルセラピー)での活動にも力を入れている。 | 個別も小集団も ABAに基づく一貫した支援を行っている。年長児は就学を想定したプログラム内容にしている。ソーシャルセラピーはお子様の発達段階に合わせたメンバー選定を行っている。 | HPやSNSにて その様子をプライバシーに配慮しつつ発信していく。ソーシャルセラピーをする際は、保護者の方へ事前に意図をお伝えする。 |
| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
| 1 | SNS、HPが活用できておらず、職員の研修や訓練の様子を伝えられていない。そのため 保護者の皆様に安心をお届けできていない。 | サービス提供時間はセラピーがまんべんなく入っかけて向かい合う時間が取れていない。余裕があれば更新しようと考えているため、スケジュールの中に組み込む必要がある。 | 人手にゆとりのある曜日、クールを確認し、定期化する。お子さんの作品などだけでなく、セラピストの研修の様子、報告なども発信する。 |
| 2 | STがいないため言語について専門性の高い指導を受けたいとの要望に十分応えられていない。 | STやOTなどによる指導を受けたいという要望があるが現職員は保育士・公認心理士のみである。療育の専門家ではあっても言語の専門ではないため言語ピンポイントのご要望に応えられない。 | 内部・外部の研修会への参加など職員の資質の向上を図るとともに本部の実地指導を受けより専門的な支援を提供できるように研鑽を積む。 |
| 3 | 指導員が外部の研修を受けたくても セラピーへの配置が優先されるため難しい。 | セラピーへの人員配置で精一杯になっている。 | 本部が実施する研修について 受けてみたい研修がないか毎月終礼でアナウンスを行い、受講したいものがあれば希望者をその時間の配置から外して受講を優先させる など 学びの機会を優先的に設ける。 |